

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

鳥栖市には県立中高一貫校をはじめとした様々な学生の進路実現を可能とする小中高校が存在し、次世代を育てる環境が整っています。また、プロスポーツチームが地域に根付いており、子どもたちの将来へ様々な選択肢を提供するための取り組みも行われています。しかし私は、高校などで行われている進路指導は子供たちにリアリティをもって伝わっておらず、子どもたちの学習計画に十分にいい影響を与えられていないという点、プロスポーツチームの運営するアカデミーに所属していない子どもたちは、選手たちとのスポーツを通じた交流の機会を得られることは少なく、取り組みの効果が地域全体に波及していると言い難い状況であるという点において改善の余地があると感じています。

こういった問題点を改善し、子どもたちの進路実現への支援をより手厚く、スポーツを地域全体の子供たちにより身近な存在にし、それが鳥栖市の活性化につながると考えます。そのために、次のような事業を行います。

- (1) 社員が学校を訪問し、自らの知識や経験を伝える講演会の実施
- (2) プロスポーツチームに所属する選手やその OB を招待し、地域の子どもたちとスポーツを通して交流してもらうイベントの実施

様々なバックグラウンドを持つ社員の経験談を通して、学生の進路の選択肢を増やしてあげること、多くの子どもたちにスポーツとプロ選手を身近に感じてもらうことは、上記に挙げた問題の解決につながり、鳥栖市の活性化に寄与することができると考えます。

これらの取り組みを実現させるためには、教育現場や保護者、プロスポーツチームの協力が不可欠です。それにあたって、当団体を法人化し、社会的信用を獲得することが必要だと考えます。

2 申請に至るまでの経過

私はこれまで、鳥栖市の小中学生が抱えるスポーツへの関心の低さや進路実現の困難などの問題を憂慮してきました。特に家庭環境や地域によって得られる情報や支援の格差が大きく、それが子どもたちの可能性を制限している現状に強い問題意識を持ちました。そこで、すべての子どもたちが平等に成長の機会を得られる場を提供したいという思いから、本法人の設立を発起しました。法人では、スポーツイベントを通じて心身の育成に加え、将来を考えるきっかけとなる講演会や進路相談などを実施し、子どもたちの自己実現を支援します。地域のスポーツクラブや教員と協力しながら、スポーツや教育を通じて、「子どもたちの未来に希望を届ける」ことを目指し、活動を展開していきたいと考えています。

2025 年 5 月 28 日

特定非営利活動法人 あいとす

設立代表者 住所

氏名 山口 大雅